

ヘリテージ・アラート（Heritage Alert）

神宮外苑地区再開発事業の撤回に向けた緊急要請

——17 世紀より創り出されてきた東京における

「庭園都市パークシステム」のコアとなる神宮外苑の保全と

継承に向けて

Press Release 2023 年 9 月 7 日

ICOMOS （国際記念物遺跡会議

International Council on Monuments and Sites）

ISCCL （国際文化的景観科学者会議

International Scientific Committee on Cultural Landscapes）

日本イコモス 国内委員会（ICOMOS Japan）

ICOMOS は日本国内委員会とともに、東京において 17 世紀より継承されてきた「庭園都市パークシステム」のコアである神宮外苑地区再開発事業を阻止し、2023 年 9 月より開始される 3000 本以上の樹木の伐採・移植を阻止するため、ヘリテージ・アラートを発令する。

再開発により、都心の貴重なオアシスに超高層ビルが建設され、野球場、ラグビー場が解体、新設される。これに伴い、9 月から開始される第一期工事だけでも、3000 本の樹木が伐採・移植され、100 年にわたり育まれてきた森は、完膚無きまでに、破壊される。

事業者は、三井不動産、明治神宮、日本スポーツ振興協会、伊藤忠商事であり、東京都は、市民や多くのステークホルダー不在のまま、多くの反対を押し切り、これを承認した。

都心の公園緑地は、人びとの憩いの場であり、生物多様性の宝庫である。気候変動による異常気象が顕在化する中でヒートアイランド現象を緩和し、首都直下型地震発生時には市民の命を守る避難場所となる。なかでも神宮外苑は、市民の献金と労働奉仕により創り出された世界の公園史でも類例のない文化的資産である。以上の理由から、世界の文化遺産を守り、継承する使命を担う国際機関であるイコモスは、ヘリテージ・アラートを発出する。

1. 三井不動産、明治神宮、日本スポーツ振興協会、伊藤忠商事は、速やかに再開発事業の撤回を行い、国際的企業、宗教法人、公明正大なスポーツ推進者としての社会的責務を遂行すべきである。
2. 東京都は、都市計画公園を削除し、超高層ビルを建設することにより、永久に市民が公園を使用する権利を剥奪したという重大事に鑑み、都市計画決定の見直しを行い、環境アセスメントの再審を行うべきである。
3. 宗教法人明治神宮は、外苑が国民の献金と勤労奉仕により創り出され、「未来永劫、美しい公園として維持する」という約束のもと奉獻されたことに鑑み、これを厳守し、再開発事業から、速やかに撤退すべきである。
4. 港区、新宿区、渋谷区は、未来世代のために、神宮外苑の「名勝」指定に向けて協力をしてとりくむべきである。
5. 神宮外苑は、17 世紀より保全、創出されてきた「庭園都市パークシステム」の枢要部に位置する。国は、東京都のみの問題とすることなく、適切な施策の適用を、様々のステークホルダーとの協働のもと、推進すべきである。

<<https://www.icomos.org/en/get-involved/inform-us/heritage-alert/current-alerts/125573-heritage-alert-jingu-gaien>> The French version of the website article will follow tomorrow, Thursday 7 September.

注) ヘリテージ・アラートは、文化的資産の保全・継承を促進し、文化的資産が直面している危機に対して、学術的観点から問題を指摘し、未来世代に向けた保全と継承に向けた解決策を促進するために、ICOMOS の専門家および公的ネットワークの活用を推進するために発する声明である。

[Heritage Alerts - International Council on Monuments and Sites \(icomos.org\)](https://www.icomos.org/en/get-involved/inform-us/heritage-alert/current-alerts/125573-heritage-alert-jingu-gaien)